

予算決算常任委員会

予算、決算など県財政全般について審査・調査をします。議長を除く議員全員が委員となっています。

委員長 中嶋 年規
副委員長 津村 衛
理事 廣 耕太郎 岡野 恵美 田中 智也
杉本 熊野 津田 健児 前野 和美

議会運営委員会

議会の運営に関する事項を中心に、議会関係の条例・会議規則等に関する事項、議長が諮問した事項などについて、審査・調査をします。

委員長 藤田 宜三
副委員長 青木 謙順
委員 廣 耕太郎 岡野 恵美 田中 智也
杉本 熊野 津田 健児 三谷 哲央
中森 博文 前野 和美

代表者会議

会派間の意見の調整や議会の行事に関することなどを協議します。

議長 舟橋 裕幸
副議長 水谷 隆
会派代表
(新政みえ) 津村 衛 北川 裕之 舘 直人
三谷 哲央
(自民党) 小林 正人 津田 健児 前野 和美
(鷹山) 東 豊
議会運営委員長 藤田 宜三

議会改革推進会議

全議員が参加し地方分権の時代にふさわしい県議会の在り方を調査し、改革を目指す他の県議会との相互交流を図ります。

会長 三谷 哲央
副会長 藤田 宜三 前野 和美
幹事長 中森 博文
幹事 芳野 正英 稲森 稔尚 下野 幸助
大久保 孝栄 山内 道明 小林 正人
長田 隆尚
監事 小島 智子 津田 健児

広聴広報会議

県議会における効果的な広聴広報の取り組みについて協議・調整します。

座長 水谷 隆
委員
(新政みえ) 後藤 健一(座長職務代理者) 芳野 正英
中瀬古 初美 濱井 初男
(自民党) 木津 直樹 田中 祐治 野口 正
(日本共産党) 山本 里香
(大志) 倉本 崇弘
(青峰) 野村 保夫

「行政部門別常任委員会、特別委員会のほか、議会内に設置されている委員会など」について紹介します!



みえ現場 de 県議会



「みえ現場 de 県議会」について紹介します!

三重県議会では多様な意見を聞き、県議会での議論に反映するため、テーマを設定し、県民から直接意見を聞く「みえ現場 de 県議会」を平成22年度から開催しています。

平成29年1月に開催した「みえ現場 de 県議会」でいただいた意見を紹介します。



テーマ：女性活躍の推進 ～中小企業の現場で～

開催概要

平成29年1月18日(水)に鈴鹿市文化会館で「女性活躍の推進～中小企業の現場で～」をテーマに、みえ現場 de 県議会を開催しました。女性が働く上での課題や女性活躍の推進のために県に期待することなど、さまざまなご意見をいただきました。

参加者

- 県内の中小企業の女性経営者等 3人
- 一般公募 3人
- 県議会議員 13人(正副議長、広聴広報会議委員、戦略企画雇用経済常任委員長、環境生活農林水産常任委員長、健康福祉病院常任委員長)

参加者からの意見

現状と課題

- 経営者が思う女性が働きやすい会社と、女性が思う働きやすい会社とではギャップがある場合がある。
- 離職して復職する場合、家事・育児・介護を抱える女性の前には、働きたいという強い意志があっても、たくさんの壁がある。働きたい気持ちはあっても、子どものことや、働く時間帯の問題で働けない人は多い。
- 復職する女性の共通点は、家計のためだけでなく、社会とつながりたい、一人の女性として輝きながら自分の人生を生きたいという思いがある。
- 女性が働きやすい会社というのは、男性にとっても働きやすい会社だと思う。今は子育てに焦点が当たっているが、介護の場合は男性にも大きく関わる話なので、働きやすい会社というのは男女ともに必要なものだと思う。
- 女性は、チャンスにつながる異動や昇進に踏み出す勇気がないことが多々ある。
- 女性が仕事をしていく場合、時間やお金以外に、働ける体力、いざという時に子どもをみてくれる家族、学童保育の環境などが必要である。

提案

- 働く女性の交流の場でもった意見を経営者に伝え、働く女性が求めていることを知ってもらおう。
- 女性側の働く意識の改革のために、多くの企業の意見を聞く機会を設け、企業側の求めている働く女性像を聞くことで、女性と企業がお互いに歩み寄ることができる。
- 女性が頑張りすぎなくてもいい環境づくりという意味で、男性にも料理、家事、育児の楽しさにふれてもらう機会を設けてはどうか。
- 女性をサポートする制度が充実すれば、働く女性が増え、やりがいを見つけた女性が管理職を目指して働きたいと思うようになると思う。
- 女性が活躍していくためには、会社内の制度づくりだけでなく、経営者・管理者・従業員の、それぞれの意識の改革が必要だと思う。メンタル面のサポートや福利厚生を手厚くすることで、心身ともに快適に仕事を続ける事が出来ると思う。



参加者からいただいたご意見は、所管の委員会で議論するなど議会として、県政への反映につながるよう取り組んでいきます。